げんまい新聞

第32号　日々の在宅医療介護に役立つ知恵と情報をお届けします

製作者
玄米
クリニック
西原町翁長834
トムズビル2階
☎098-944-6663

在宅での医療や介護を支える「訪問看護」って、どんなサービス？

ご家族がご自宅で安心して療養生活を送るために、とても力強い味方となる「訪問看護」。
言葉は聞いたことがあっても、「具体的に何をしてくれるの？」「ヘルパーさん（訪問介護）とは違うの？」と疑問に思っている方も多いかもしれません。
介護を担うご家族の負担を和らげ、ご本人の「住み慣れた家で過ごしたい」という想いを支える訪問看護について、わかりやすくご紹介します。

🏡 訪問看護とは？

一言でいえば、「看護師がご自宅に訪問して、医療的なケアやサポートを行う」サービスです。病院やクリニックといった「医療機関」に通うのが難しい方や、退院後もご自宅で医療的な管理が必要な方のために、看護師や理学療法士などの専門家が「暮らしの場」へうかがいます。

❓ 「訪問介護（ヘルパー）」との一番の違い

ご家族にとって、ここが一番分かりにくい点かもしれません。
どちらも自宅に来てくれる点では同じですが、役割が明確に違います。

- 訪問介護（ホームヘルパー）
- 役割: 生活の「お手伝い」が中心です。
- 例: 食事の準備、掃除、洗濯、買い物の代行、オムツ交換、入浴や着替えの介助など。
- ポイント: 原則として「医療行為」はできません。（例：インスリン注射、床ずれ（褥瘡）の処置、点滴の管理など）
- 訪問看護（看護師）
- 役割: 「医療的なケア」が中心です。
- 例: 健康状態のチェック、お薬の管理、点滴、注射、床ずれの処置、医療機器（在宅酸素など）の管理、医師の指示に基づく様々な処置。
- ポイント: 病状の悪化を防ぎ、ご自宅での療養生活を医療面からサポートします。

もちろん、看護師が訪問した際に、入浴のお手伝い（体を拭いたり、皮膚の状態をチェックしたり）をすることもあります。「生活のサポート」に「医療の視点」が加わるのが、訪問看護の大きな特徴です。

🩺 訪問看護の具体的なサービス内容

訪問看護師は、ご本人の状態やご家族の希望に合わせて、かかりつけの医師と連携しながら以下のようなサポートを行います。

1. 健康状態のチェックと管理

- 血圧、体温、脈拍、呼吸などの測定
- 病状の観察（「いつもと変わりないか」をプロの目でチェックします）
- かかりつけ医への状態報告と連携

2. 医療的なお世話

- 点滴、注射、インスリンの投与
- 床ずれ（褥瘡）の予防と処置
- カテーテル（管）や在宅酸素、人工呼吸器などの管理
- たんの吸引

3. お薬の管理

- 「お薬がちゃんと飲めているか」の確認
- 「飲み忘れないように」カレンダーなどへのセット
- 副作用が出ていないかのチェック

4. 日常生活のサポート（医療の視点で）

- 体を拭いたり、洗髪、入浴の介助（体調に合わせて安全に行います）
- 皮膚トラブルのチェックとケア
- 食事や排泄のサポート

5. ご家族への支援と相談（ここが非常に重要です）

- 介護方法のアドバイス（「こういう時、どうしたら？」「この体勢はつらくない？」など）
- ご家族の健康相談、精神的なサポート（不安や悩みを話せる相手）
- 緊急時の対応方法の相談

6. リハビリテーション

理学療法士（PT）や作業療法士（OT）が訪問し、ご自宅でリハビリを行う場合もあります。

7. ターミナルケア（看取り）

ご本人が最期までご自宅で穏やかに過ごせるよう、痛みや苦しさを和らげるケアを行い、ご家族の心のケアもサポートします。

🌟 訪問看護を利用する「安心感」

訪問看護の最大のメリットは、「ご本人もご家族も、自宅で安心して過ごせること」です。

♦**ご本人にとって**:住み慣れた環境で、リラックスして医療ケアを受けられる。

- 病状の変化に早く気づいてもらえる。

♦**ご家族にとって**:「何かあったらどうしよう」という不安が和らぐ。

- 医療的な判断を看護師に相談できる。
- 日々の介護の負担や悩みを共有できる「味方」ができる。

介護は一人、あるいは一家族だけで抱え込むものではありません。「ちょっと大変になってきたな」「医療的なケアが必要かも」と感じたら、それは専門家の力を借りるサインです。